

平成 9 年 9 月 招 集

第 3 回 館 山 市 議 会 定 例 会 会 議 録

館 山 市 議 会

目 次

◎第1号（9月8日）

開 会	2
議長の報告	2
議案の配付	3
会議録署名議員の指名	3
会期の決定	3
会議日程の決定	3
議案第47号～議案第50号、認定第1号～認定第8号（提案理由の説明）	3
延 会	7
本日の会議に付した事件	7

◎第2号（9月10日）

開 議	10
行政一般通告質問	10
小幡 一宏君の質問、当局の応答	10
辻田 実君の質問、当局の応答	20
三上 英男君の質問、当局の応答	35
鈴木 順子君の質問、当局の応答	46
永井 龍平君の質問、当局の応答	57
斉藤 実君の質問、当局の応答	71
神田 守隆君の質問、当局の応答	77
散 会	89
本日の会議に付した事件	89

◎第3号（9月12日）

開 議	92
議案第47号～議案第49号	92
辻田 実君の質疑、当局の応答	92
神田 守隆君の質疑、当局の応答	97
委員会付託	100

議案第50号	100
辻田 実君の質疑、当局の応答	100
神田 守隆君の質疑、当局の応答	109
委員会付託	114
請願第16号～請願第21号	114
委員会付託	115
議長の報告	115
延 会	115
本日の会議に付した事件	115

◎第4号（9月17日）

開 議	118
認定第1号～認定第8号	118
神田 守隆君の質疑、当局の応答	118
辻田 実君の質疑、当局の応答	126
三上 英男君の質疑、当局の応答	134
本橋 亮一君の質疑、当局の応答	136
鈴木 順子君の質疑、当局の応答	142
決算審査特別委員会の設置・付託・委員の選任	148
延 会	149
本日の会議に付した事件	149

◎第5号（9月26日）

開 議	153
議案の配付	153
議長の報告	153
議案第47号～議案第49号	153
文教民生委員会委員長報告	153
採決	155
議案第50号	155
総務委員会委員長報告	155
採決	157

請願第16号	157
総務委員会委員長報告	158
採決	158
日程の追加・発議案第8号	159
説明	159
委員会付託の省略	160
採決	160
請願第17号～請願第20号	160
文教民生委員会委員長報告	160
採決	161
日程の追加・発議案第9号	161
説明	162
委員会付託の省略	162
採決	163
継続審査について（請願第7号、請願第15号、請願第21号）	163
議長の報告	163
認定第1号～認定第8号	163
決算審査特別委員会委員長報告	164
辻田 実君の討論	168
三上 英男君の討論	170
鈴木 順子君の討論	171
採決	172
議案第51号	172
説明	172
鈴木 順子君の質疑、当局の応答	173
委員会付託の省略	174
神田 守隆君の討論	174
鈴木 順子君の討論	175
採決	175
議案第52号	176
説明	176
委員会付託の省略	176

採決	177
発議案第4号～発議案第6号	177
説明	177
委員会付託の省略	177
採決	178
発議案第7号	178
説明	178
委員会付託の省略	179
採決	179
閉 会	179
本日の会議に付した事件	179

第 3 回 館 山 市 議 会 定 例 会 会 議 録
(第 1 号)

1 平成9年9月8日(月曜日)午前10時

1 館山市役所議場

1 出席議員 25名

1番 辻 田 実
3番 三 上 英 男
5番 忍 足 利 彦
7番 斉 藤 実
9番 島 田 保
11番 秋 山 光 章
13番 脇 田 安 保
15番 山 崎 雅 己
17番 岩 村 勝 弘
19番 川 名 正 二
21番 山 中 金治郎
23番 石 井 昌 治
25番 飯 田 義 男

2番 本 橋 亮 一
4番 小 幡 一 宏
6番 鈴 木 順 子
8番 増 田 基 彦
10番 宮 沢 治 海
12番 植 木 馨
14番 永 井 龍 平
16番 鈴 木 忠 夫
18番 日 下 君 敏
20番 神 田 守 隆
22番 榎 本 春 光
24番 福 原 勤

1 欠席議員 なし

1 出席説明員

市 長 庄 司 厚
収 入 役 永 野 修
総 務 部 長 鈴 木 完 二
経 済 環 境 部 長 小 沼 晃
水 道 課 長 鈴 木 基 博
教 育 委 員 会 長 高 橋 博 夫
選 挙 管 理 委 員 会 事 務 局 書 記 長 大 山 了 一
監 査 事 務 局 長 福 田 英 雄

助 役 小 幡 清 之
企 画 部 長 寺 嶋 清
市 民 福 祉 部 長 渡 辺 富 雄
建 設 部 長 鈴 木 信 一
教 育 委 員 会 長 伊 藤 昌 彦
選 挙 管 理 委 員 会 長 金 子 光 男
監 査 委 員 山 田 教 和
農 業 委 員 会 長 木 高 松 雄

1 出席事務局職員

事 務 局 長 兵 藤 恭 一
書 記 四ノ宮 朗

事 務 局 長 補 佐 鈴 木 哲
書 記 鈴 木 達 也

1 議事日程（第1号）

平成9年9月8日午前10時開議

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 会議日程の決定

日程第4 { 議案第47号 館山市、富浦町及び三芳村学校給食組合規約の変更に関する協議について
議案第48号 館山市乳幼児医療費支給条例及び館山市母子家庭・父子家庭等医療費等の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第49号 館山市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
議案第50号 平成9年度館山市一般会計補正予算（第2号）
認定第1号 平成8年度館山市一般会計歳入歳出決算の認定について
認定第2号 平成8年度館山市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第3号 平成8年度館山市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第4号 平成8年度館山市ユースホステル特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第5号 平成8年度館山市学童災害共済事業特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第6号 平成8年度館山市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第7号 平成8年度館山市水道事業特別会計収支決算の認定について
認定第8号 平成8年度館山市国民宿舎事業特別会計収支決算の認定について

開 会 午前10時04分

◎議長（石井昌治君） 本日の出席議員数25名、これより平成9年第3回市議会定例会を開会し、直ちに本日の会議を開きます。

議長の報告

◎議長（石井昌治君） 本定例会議案審議のため、地方自治法第121条の規定による出席要求に対し、お手元に配付のとおり出席報告がありましたので、御了承願います。

なお、監査委員から5月乃至7月実施の監査結果が報告されております。それぞれお手元に配

付の印刷書により御了承願います。

議案の配付

◎議長（石井昌治君） ただいま市長から議案並びに説明書の送付がありました。

議案並びに説明書を配付いたします。

配付漏れはありませんか。 — 配付漏れなしと認めます。

本日の議事は、お手元に配付の日程表により行います。

会議録署名議員の指名

◎議長（石井昌治君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

1番議員辻田 実君、25番議員飯田義男君、以上兩名を指名いたします。

会期の決定

◎議長（石井昌治君） 日程第2、会期の決定を行います。

本定例会の会期につき、議会運営委員会の意見は本9月8日から9月26日までの19日間ということであります。

お諮りいたします。会期を19日間と定めますことに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（石井昌治君） 御異議なしと認めます。よって、会期は9月8日から9月26日までの19日間と決定いたしました。

会議日程の決定

◎議長（石井昌治君） 日程第3、会議日程の決定を行います。

お諮りいたします。お手元に配付の会議日程表は議会運営委員会の意見により作成いたしました。本定例会をこの会議日程表により運びますとともに、議事の都合等によりましてその都度これを改めることにして、大体このようにしたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（石井昌治君） 御異議なしと認めます。よって、会議日程は決定いたしました。

議案の上程

◎議長（石井昌治君） 日程第4、議案第47号乃至議案第50号及び認定第1号乃至認定第8号の各議案を一括して議題といたします。

提案理由の説明

◎議長（石井昌治君） これより各議案に対する提案理由の説明を求めます。

庄司市長。

（市長庄司 厚君登壇）

◎市長（庄司 厚君） 本日ここに第3回市議会定例会を招集し、当面する諸案件について御審議をお願いすることといたしました。議員の皆様方には御多用のところ御出席をいただきありがとうございます。

今回提案いたします案件は、条例議案2件、一般議案1件、補正予算1件及び認定議案8件でございます。

以下、その概要について御説明申し上げます。

まず、議案第47号館山市、富浦町及び三芳村学校給食組合規約の変更に関する協議についてでございますが、三芳村の幼稚園給食の実施に伴い、関係市町村が負担する分担金の負担割合の算定に際し、幼稚園の幼児数を算定の基礎に加える必要が生じたため、組合規約の一部改正について地方自治法第286条第1項の規定により、協議しようとするものでございます。

次に、議案第48号館山市乳幼児医療費支給条例及び館山市母子家庭・父子家庭等医療費等の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、国家公務員等共済組合法の題名が国家公務員共済組合法に改められたことに伴い、条文を整理しようとするものでございます。

次に、議案第49号館山市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定についてでございますが、国民健康保険法の一部改正に伴い、被保険者の一部負担について薬剤費負担を加えるほか、所要の改正をしようとするものでございます。

次に、議案第50号平成9年度館山市一般会計補正予算（第2号）でございますが、歳入歳出予算の補正といたしまして、歳入歳出それぞれ9,669万7,000円を追加し、総額159億8,169万7,000円としようとするものでございます。

歳出といたしましては、総務費では千葉縣市町村総合事務組合負担金で1,165万6,000円、ニューファイリングシステム導入に伴う文具費で173万9,000円、プロ野球キャンプ対策業務委託料で600万円、MANGA共和国事業化推進調査委託料で500万円、東京湾アクアライン完成記念イベント委託料で194万9,000円、衛生費では老人訪問看護ステーション整備事業補助金で132万円、これは社団法人安房医師会並びに医療法人博道会の老人訪問看護ステーション設置に対し、助成しようとするものでございます。また、古紙再資源化促進を図るための古紙処理手数料で212万円、最終処分場嵩上げ事業調査設計等委託料で1,605万3,000円、ばい煙等測定委託料

で 206万 9,000円、これは厚生省が発表したダイオキシン類発生防止等ガイドラインに基づき、測定調査を実施しようとするものでございます。農林水産業費では、園芸農業活性化事業補助金で 364万 8,000円、畜産環境対策促進事業補助金で 1,634万 5,000円、商工費では公衆トイレ及び駐車場用地造成工事請負費等で 2,207万 1,000円の増、公衆トイレ建設工事請負費等で 2,717万円の減、これは事業計画の変更に伴い、予算の組み替え及び減額をしようとするものでございます。土木費では、道路維持補修工事請負費で 500万円、道路維持補修工事材料費で 900万円、市営住宅補修工事請負費で 1,020万円、教育費では臨時職員賃金で 134万円、校用器具費で 141万 6,000円、産休病休補助教員賃金で 305万 7,000円でございます。

以上、歳出の主な内容について御説明申し上げましたが、これらの財源といたしまして、県支出金 1,241万 9,000円、前年度繰越金 1億 147万 8,000円をもって充当しようとするものでございます。

このほか、最終処分場嵩上げ事業調査設計等委託料につきまして債務負担行為の追加、また海水浴場施設整備事業につきまして地方債の変更をお願いするものでございます。

次に、認定第1号ないし認定第8号の諸案件は、いずれも平成8年度館山市一般会計外7特別会計の歳入歳出決算につきまして、地方自治法等の規定に基づき、監査委員の意見を付して議会の認定をお願いするものでございます。

まず、平成8年度の概況でございますが、地方財政は引き続き厳しい状況の中で、住民に身近な社会資本の整備、少子・高齢化に対応した福祉施策の充実、災害に強い安全なまちづくり、自主的・主体的な活力ある地域づくり等、現下の重要政策課題を推進していく上で、地方団体はますます大きな役割を担うことが求められました。

平成8年度の地方財政の運営に当たりましては、このような見地に立って税収入の確保、受益者負担の適正化等財源の確保に努めるとともに、各種施策の優先順位について厳しい選択を行い、財源の計画的・重点的な配分に徹するほか、経済の動向に即応した機動的・弾力的な運営に配慮するなど、節度ある財政運営を行うことが要請されました。

館山市におきましては、このような国及び地方を取り巻く厳しい財政環境の中で、常に既存の事務事業の見直しを行うとともに、税収入の確保、地方交付税措置のある地方債の借り入れ等、財政構造の弾力性の確保を基本に計画的な財政運営に努めてきたところでございます。具体的な予算の執行に当たりましては、市の基本構想で定めました将来都市像「活力ある文化福祉都市」の実現に向け、施策の緊急性、真に必要な施策の検討など優先順位の厳しい選択の中で、都市基盤整備、産業振興、生活関連施設の整備、福祉の向上、教育文化・スポーツの振興を計画的に推進し、市民生活の安定向上に努めてまいりました。

この結果、一般会計におきましては、歳入総額 158億 9,770万余円で、対前年度比17億 6,935

万円、10.0%の減、歳出総額 151億 9,831万余円で、対前年度比17億 1,318万余円、10.1%の減となり、歳入歳出差引額は6億 9,939万円で、翌年度へ繰り越すべき財源として下原漁港改修事業などに係る繰越額1億 4,744万余円を除く実質収支は5億 5,194万余円となっております。

なお、平成8年4月に明らかになりましたN T T株取得による損失につきましては、本決算において欠損処理を行ったところでございます。

次に、特別会計についてでございますが、運営の合理化、適正化を図りながら独立採算制の確保に努めました。

国民健康保険会計におきましては、医療費は3.2%の増、老人保健会計の医療費におきましては8.9%の増となっております。なお、実質収支につきましては、国民健康保険会計2億 8,388万余円、老人保健会計2,715万余円となっております。また、ユースホステル会計及び学童災害共済事業会計の実質収支につきましては、それぞれ145万余円、58万円となっております。

下水道事業会計におきましては、公共下水道の早期供用開始を図るため、終末処理場につきましては前年度に引き続き用地購入及び建設工事を実施いたしました。また、汚水管渠整備につきましては、幹線管渠及び枝線管渠の築造工事を実施いたしました。この結果、歳入総額37億 3,405万余円、歳出総額37億 3,055万余円、歳入歳出差引額は350万円となりますが、これは繰越明許費により翌年度へ繰り越す財源でございます。

水道事業会計におきましては、作名浄水場のろ過池の一部改修、老朽配水管の布設替工事を施工し、配水能力の向上等、既存施設の整備拡充に努めるとともに、第3次拡張事業として山本浄水場改良工事及び山本加圧ポンプ場建設工事のほか、配水管及び配水支管布設工事を施工いたしました。

この結果、収益的収支につきましては1億 6,244万余円の純損失を生じました。

資本的収支につきましては4億 3,423万余円の不足が生じましたが、減債積立金等をもって補てんいたしました。

国民宿舎事業会計におきましては、利用者の減少によりまして、収益的収支につきましては1,358万余円の純損失を生じました。資本的収支につきましては519万余円の不足が生じましたが、当年度分損益勘定留保資金等をもって補てんいたしました。

なお、平成8年度の個々の施策につきましては「決算に係る主要な施策の成果に関する報告」及び「歳入歳出決算事項別明細書」等により御了承賜りたいと存じます。

以上、各議案に対する提案理由について御説明申し上げましたが、この会期中、追加議案といたしまして、館山市監査委員の選任について及び館山市教育委員会委員の任命について上程をお願いする予定でございます。

よろしく御審議のほどお願い申し上げます。

以上でございます。

◎議長（石井昌治君） 以上で提案理由の説明を終わります。

延 会 午前10時22分

◎議長（石井昌治君） お諮りいたします。

本日の会議はこれにて延会としたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（石井昌治君） 御異議なしと認めます。よって、本日はこれにて延会とすることに決しました。

なお、明9日は議案調査のため休会、次会は9月10日午前10時開会とし、その議事は通告による行政一般質問を行います。

◎本日の会議に付した事件

- 1 会議録署名議員の指名
- 1 会期の決定
- 1 会議日程の決定
- 1 議案第47号乃至議案第50号
- 1 認定第1号乃至認定第8号

